

アレルギーを知ろう、学ぼう！

2月17日～2月23日はアレルギー週間

アレルギーってなに？

私たちの体には、菌やウイルスから身を守るための「免疫」が備わっています。この「免疫」が、特定の物質に過剰に反応して、くしゃみや湿疹、呼吸困難などの症状を引き起こすことを**アレルギー**といいます。



食物アレルギー



薬剤・昆虫アレルギー



アトピー



花粉症



喘息



●知っていますか？赤ちゃんのスキンケアと食物アレルギーの関連

近年の研究より、湿疹やアトピー等、弱ったお肌に食物が触れることで、食物アレルギーの発症率が高くなることがわかりました。

特に赤ちゃんには、乳児湿疹などの皮膚トラブルがよく見られます。予防のために、保湿を中心としたスキンケアが重要となります。湿疹が出ている、かゆがっている等の症状がある場合、自然に治るのを待つのではなく、医療機関で指導を受けたうえで治療することが大切です。



●危険な『アナフィラキシー』について

ごく稀に、命に危険が及ぶ強いアレルギー反応「アナフィラキシー」が起こることがあります。アナフィラキシーは、臓器を含む全身にアレルギー反応が起こり、「呼吸困難」や「喘鳴（ゼエゼエ、ヒューヒューとした呼吸）」「ショック（血圧低下による血流の低下）」などを引き起こします。症状は急速に進むため、一刻も早く救急車を呼びましょう。



市民向けの講座(Web配信)があります

アレルギー週間を前に、日本アレルギー協会が市民公開講座を開催します。和歌山県のアレルギー対策や、アトピー対策に関する講座が聞けますので、興味のある方はお申し込みください！

無料 第29回 アレルギー週間 市民公開講座 (Web配信) 先着200名

日時：令和5年2月11日(土) 14:00～15:45

総合司会：日本赤十字社和歌山医療センター 小児科部長 吉田 晃 先生

